

ロジスティクス環境会議

第8回環境パフォーマンス評価手法検討委員会 議事録

・日 時：2004年11月17日(水) 15:00～17:00

・場 所：東京・港区 浜松町東京會館 パールルーム

・出席者：24名

・内 容：

- 1) データ収集方法事例ガイドについて
- 2) 今後の進め方について
- 3) その他

・開 会

定刻、増井委員長により、開会が宣された。

・議事の経過

1. 議 事

増井委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) データ収集方法事例ガイドについて【資料1】

事務局より、資料1に基づき、「データ収集方法事例ガイド(試案)」について、構成や項目を中心に説明が行われた。表現等については、ガイドラインに則した内容に修正したい旨の説明が行われた後、以下のような意見交換が行なわれた。

【主な意見交換の内容】

- 【委 員】算定の標準式として「燃料使用量」を活用することが「標準」として記載されているが、統一的な方針が提示されることは良いのではないか。
- 【委 員】ガイドのタイトルとしては「二酸化炭素算定のための」という標記を冒頭に加えるべきではないか。
- 【委 員】算定したい人がこのガイドを見てすぐに分かるようになっていないのではないか。燃料使用量、トンキロなど、算定式ごとにまとめた方が良いのではないか。
- 【委 員】燃費を活用した方法についても、燃料使用量のバリエーションとしてわかるように記載した方が良いのではない。
- 【委 員】各事例との紐付けをした方がより分かりやすいのではないか。
- 【委 員】係数、原単位については、巻末にまとめて掲載した方が良いのではないか。
- 【委 員】算定に必要なデータは極力最新のものを活用し、そのデータが実測値なのか、推定値なのか等も明記する必要があるのではないか。

以上のような意見交換が行われた後、委員メンバーからの意見に基づき、見た方すぐに使えるような構成、体裁、表現を再度検討し、ガイドの作成を進めることが確認された。

また、原案を作成した後、正副委員長間による検証を加え、ガイドとしての精度を高めたうえで、次回委員会を開催し、委員メンバーによる検証と確認を行うことが確認された。

2) 今後のスケジュール

第9回委員会

日 時：2005年1月

詳細日程については、調整のうえ後日確定する

2. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、増井委員長は閉会を宣した。

以 上